

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

2023年 新春号



第2回イコウ!川柳コンテスト 最優秀賞受賞作品 (作: M・Mさん<リセル布施>)

【巻頭特集】

目指す姿はテーマパーク! 仲間が集うワクワクカンパニー

SOMPOホールディングス特例子会社 SOMPOチャレンジド(株)

代表取締役社長 中川崇生氏 インタビュー

就労支援の「人」

(一社) 社会福祉支援研究機構 理事長 佐野敏夫氏

いこう!就労移行支援事業所へ

“資格×プロレス!心と身体をヒートアップ!”ルミノーズ川崎登戸

第2回イコウ!川柳コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

目指す姿はテーマパーク！

仲間が集うワクワクカンパニー

SOMPO ホールディングス特例子会社※

SOMPO チャレンジド株式会社

代表取締役社長 中川崇生氏インタビュー



※企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。



当社はSOMPOホールディングスの子会社として、2018年に設立し、同年に特例子会社として認定されました。2018年4月に精神障がい者の雇用が義務化されると共に、障がい者の法定雇用率が段階的に引き上げられることが決定されました。

貴社の成り立ちについて教えてください。

損害保険や生命保険、介護、シニアに関する多くのサービスを提供し、多くの人々の「安心できる健やかな暮らし」に寄り添っているSOMPOホールディングス。同社の特例子会社として、100名を超える障がいのある方々が活躍しているSOMPOチャレンジド株式会社（以下、SOMPOチャレンジド）は、メンバーの方々のいきいきとした活躍や地域社会貢献を実現するため、関係支援機関とのつながりをとても大事にしています。ここでは、メンバーの方々の活躍の風景や同社の取組み内容について、中川崇生代表取締役社長にインタビュー形式でお話を伺いました。

設立初年度は精神障がい者の新規採用から取組むこととし、人材紹介会社からの紹介を中心に採用を開始すると共に、就労支援機関との関係づくりに注力しました。同時並行で特別支援学校との関係づくりにも取組み、2年生の職場実習、インターンシップの受け入れを働きかけました。この取組みにより、創業2年後に初めて、特別支援学校を卒業した新卒生8名を迎えることができました。

親会社であるSOMPOホールディングスにおいて、当社設立後、毎年20名ずつ障がい者の在籍を増やし、2023年度末で在籍者100名を達成するという計画が策定されたため、当社では、この計画に基づき、新規採用・定着に取組んできました。

貴社が短期間で急成長を遂げた背景を教えてください。

また、今後更なる引き上げも予想されていたことから、SOMPOホールディングスでは、グループとして、障がい者を安定して雇用することや障がい者が強みを発揮し、長く活躍できる環境を整備することを目的に、当社を設立することを決定したのです。



SOMPOチャレンジドの受賞・認定内容



SOMPO チャレンジド株式会社

代表取締役社長 中川 崇生 Takao Nakagawa

1986年 安田火災海上保険株式会社（現 損害保険ジャパン株式会社）入社。2012年 医療・福祉開発部長、2015年 東京中央支店長、2017年 秘書部長、2020年 SOMPOチャレンジド株式会社代表取締役社長に就任、現在に至る。



就労支援機関との関係づくりにも注力

現在は、損保ジャパンを中心としたSOMPOグループ各社から

貴社の業務内容を教えてください。

当社では、新規採用と共に定着支援にも積極的に取り組んできました。精神障がい、発達障がいのある方を中心に採用を開始したこともあり、現在では全体の約70%が精神障がい者手帳保持者であり、全体の50%程度が発達障がい者です。このような従業員構成であることから、いつでも相談できる体制の構築が欠かせないと考え、精神保健福祉士や社会福祉士の資格を持つ、障がい者支援の経験のある専門職の採用にも取組み、現在5名が在籍しています。

また、業務指導者もメンバー5名に対し1名を基準に配置し、指導者がサポーターと緊密に連携することで、メンバーの定着支援を行っています。このように新規採用定着支援に取り組んできたことで2022年4月時点で在籍目標100名を達成することができ、10月時点では109名となっています。

業務を切り出してもらい、受託しています。業務を大きく分類すると、軽作業を中心としたオフィスサポート系の業務と損害保険事業に関する事務サポート系の業務の二つです。オフィスサポート系の業務は、メールセンター業務（4拠点、郵送物・コピー用紙などのデリバリー業務、印刷業務など）です。

事務サポート系の業務は、データインプット、スキヤニング、損保営業・保険金支払い事務に関連するサポート業務などです。最近では、コロナ禍におけるグループ全体としての働き方改革に伴うテレワークの推進を背景にスキヤニング業務の引き合いが急速に増加しています。当社においても、一時的にメンバー全員を実質的に自宅待機とせざるを得なかったことを踏まえ、必要な時にテレワークができる態勢構築を目的に、既存業務の分解によるテレワーク業務の捻出や新たにテレワークに適した業務の開拓に積極的に取り組ましました。これにより、一定のテレワーク業務が確保できたため、現在も

事務サポート系業務を中心にテレワークと出社を組み合わせたハイブリッド型の働き方を継続しています。

会社としてもテレワークの推進を下支えるために2021年10月にテレワーク手当を導入しました。会社としては、コロナ禍であるかに関わらず、ひとり一人が働き方を選択できる働き方改革の一つとして、今後もテレワークを推進していきたいと考えています。

メンバーの方に対する配慮内容について教えてください。

まず、入社前に配慮が必要なことを必ずヒアリングするようにしており、要望が合理的なものであれば、会社として可能な範囲で対応するように努めています。また、本社のある西東京オフィスは、働きやすい環境づくりの一環として、メンバー専用の広い休憩室、個別面談室、車いすがすれ違ふことができる広い通路、カーブミラーの設置などオフィスファシリティにも可能な限り配慮しています。



メールセンター業務



デリバリー業務



シュレッダー業務



印刷業務



事務サポート業務

SOMPOチャレンジドの業務風景



取材当日は、総合企画部 武藤圭子課長（右）にもお話を伺いました。

業務面では、過集中の防止や体力面での配慮として1時間ごとに10分の小休憩をとることを標準としています。現在、メンバーがより長く働き続けることを目的に力を入れているのが、特例子会社に相応しい「健康経営」の推進です。今年度、産業医2名体制に拡充し、内科医、精神科医それぞれからアドバイスをいただくと共に、従業員向けに健康をテーマとしたセミナーを開催いただくなどの取り組みを行っています。

その他にも、健康リテラシー向上のため、毎月「健康ニュース」を発信すると共に、今年度は、運動機会の提供を目的に健保主催の「ウォーキングイベント」にも参加しています。人事制度面では、有給休暇を入社初年度16日、2年度目以降は24日付与しています。

有休とは別に、昨年度、年間5日相当分の時間単位で取得できる特別休暇を新設しましたが、メンバーは、早帰りや通院など、疲労対策、セルフケアにも積極的に活用しているようです。

万一、体調が悪化した場合には、安心して治療に専念し、リワークできることを目的に、傷病休暇（休暇の繰越分を元に最大30日）、勤続期間に応じた欠勤（2か月〜12か月）と休職（3か月〜10か月）の制度を設けています。このような健康経営に関する多面的な取り組みが評価いただけたことで、健康優良企業「銀」、健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）に認定されました。

定期開催されている「業務連絡会」について教えてください。

業務連絡会は創業2年目である2019年度に開始し、その後、毎年3回程度開催しています。業務連絡会は、就労支援機関の支援員、特別支援学校の先生方に当社の取り組みを知っていただくことを主たる目的に開催していますが、参加される皆さまによる意見交換、議論の時



グループにとってなくてはならない会社に

間も設けていることから、支援機関、特別支援学校の交流、情報交換の機会として有効であるとの声もいただいています。

コロナ禍により、対面での開催ができない時期もありましたが、現在は、WEBによる参加のしやすさと対面による情報交換のしやすさの観点から、対面とWEBによるハイブリッド型での開催としています。当社では、就労支援機関、特別支援学校の皆さまとの連携は最重要であると考えており、引き続き業務連絡会等で積極的に情報開示を行っていききたいと思います。

キャリア開発プログラムについて教えてください。

メンバーが長く働き続けるためには、勤怠を整えて毎日業務を行うだけでなく、メンバー一人ひとりに合ったキャリア形成が必要と考え、昨年度、その支援策として「キャリア開発プログラム」の検討に着手しました。

「キャリア開発プログラム」は、

自身の将来のありたい姿や成長のプロセスを具体的にイメージし、その実現に向けて必要な能力開発と職務経験を積んでいくものです。このプログラムをもとに能力開発と職務経験に取り組んでいくことで、着実にキャリア形成が図られ、働き続けるためのモチベーション、エンゲージメントが向上すると考えています。

キャリア開発プログラムは約半年かけて検討を進め、指導者向け、メンバー向けの説明会を開催した上で、今年の9月にプログラムメニューを開講しました現在の能力開発のメニューの中心は、社内研修ですが、今後は、社外研修や自己啓発のメニューも追加していく予定です。自己啓発に関しては、会社として推奨していきたいと考えており、能力開発に繋がる資格や技能の修得費用や研修受講費用などの一部を助成する「自己啓発補助制度」の新設も検討していくことにしています。

また、「社内留学制度」というものもあります。これは、メンバーの自発的な応募に基づいて

2022年11月開催「業務連絡会」について

- ❖日時：2022年11月1日（火）・2日（水）
- ❖会場：新宿 損保ジャパン本社ビル
- ❖プログラム（両日共に）
 - ▶第一部：支援機関連絡会
 - ご挨拶や採用関連の連絡、メンバーからの発表など
 - ▶第二部：意見交換会
 - 関係支援機関を交えた意見交換

（下）会場には各支援機関の方々が集まっていた



（上）連絡会の冒頭で挨拶を行う中川社長

SOMPO チャレンジドパークという考え方について



SOMPO チャレンジドのありたい姿をイメージした
「SOMPO チャレンジドパーク」

魅力あるアトラクション（事業）を充実させ、サポートヤード（就労支援機関、特別支援学校、医療機関、行政機関の皆さまなど）のサポートを得ることで、多くのキャスト（メンバーをはじめとする社員全員）がいきいきと働きがいをもって働くことができる、そのような会社を目指している。



マスコットキャラクター「チャレンドリ」。こちらも SOMPO チャレンジドのメンバーがデザインをした。

※SOMPO チャレンジドパークは、下記会社 URL にてご覧いただけます。

当社では、当初計画のメンバー在籍100名の目標は1年前倒しで達成することができ、グループ

貴社の今後のステップアップのビジョンについて教えてください。



「うちの部署に来て」とメンバーの方が制作した留学生募集ポスター

他のチームの業務を短期間（1日・3日・5日）体験（留学）できる制度です。これは非常に人気があり、応募者も多くなっています。

今後、障害者雇用促進法の改正により、事業主の責務として障害者の職業能力の開発と向上による雇用の安定が明記される見込みであり、当社では、キャリア形成支援が障害者雇用の質の向上の取り組みの中心になると考えております。キャリア開発プログラムは展開を始めたばかりですので、徐々にメニューを追加、拡充していくことで、着実にメンバーのキャリア形成の支援を行っていきたく思います。

当社は、昨年、「私たちの使命」として、「障がいのあるなしにかかわらず、心とからだの健康を大

貴社に応募を考えている就労移行支援事業所の利用者さんたちへのメッセージをお願いいたします。

全体は、全ての業務をグループ各社から受託しているため、まずは、グループへの財務面、非財務面両面にしっかりと貢献することで、グループ内で、「なくてはならない会社」となることを目指します。その上で、グループ内貢献にとどまらず、微力ではありますが、地域における障がい者雇用のロールモデルとなり、地域、社会の課題の解決に貢献することで、地域、社会においても「必要な会社」になることを目指したいと考えております。

切にすることで、強みを活かし、いきいきと働くことができる機会を提供します」と宣言しました。

また、「私たちのありたい姿」として、「働きやすい環境」、「個人・組織の成長」、「選ばれる品質」を実現することで、働きがい、働く喜びを感じられる会社を目指します」と宣言しました。そして、「私たちの大切にしている価値観」として、「挑戦と成長」、「心とからだの健康」、「人の役に立つ、社会の役に立つことの喜び」を掲げました。



取材は東京都新宿の損保ジャパン本社ビルにて行われました。

当社では、このような考え方に共感いただける仲間を増やしていきたいと考えています。私たちと共にチャレンジしてくれる皆さんをお待ちしています。当社のありたい姿を公式WEBサイトに「SOMPO チャレンジドパーク」というイメージ画像にして公開しています。ぜひ、こちらもご覧いただければ幸いです。

SOMPO チャレンジドについて

- ◆所在地：〒202-8558 東京都西東京市新町6丁目3-5
- ◆事業所：西東京（東京都西東京市）／新宿（同新宿区）／中野（同中野区）／日本橋（同中央区）／江戸川橋（同文京区）
- ◆創業：2018年4月2日（特例子会社認定：2018年7月30日）
- ◆資本金：2,500万円
- ◆従業員数：183名（うち障がい者109名）※
- ◆従業員の障がい者内訳：精神障がい：76名／知的障がい：31名／身体障がい：2名※

※2022年6月時点

<https://www.sompo-cha.com/>





いこう! 就労移行支援事業所へ!



今回はルミノーズ川崎登戸にお伺いした。駅から徒歩2分とアクセスも極めて良好。



取材に応じてくれたルミノーズグループの竹井弘二代
表理事(左)・ルミノーズ川崎登戸の志賀萌施設長(右)

<今回お伺いした事業所>

LUMINOSO

就労移行支援・就労定着支援

町田 町田シバヒロ前 川崎登戸

資格×プロレス! 心と身体をヒートアップ!

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこにはやはり事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは、実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

資格の専門家が利用者さんをナビゲート

東京都町田市に2拠点、神奈川県川崎市に1拠点を展開するルミノーズ(ルミノーズとはイタリア語で「明るい」を意味する)。運営団体である(一社)ルミノーズの代表理事である竹井弘二さんは、大手資格の専門学校LIEC東京リーガルマインドで不動産系の資格の講師をされていた経歴がある。つまり、就職のための資格のエキスパートであり、その知見はこの事業所において存分に活かされている。

「訓練内容として、特に資格取得に力を入れています。ただし、ただ資格が学べる仕組みを用意しているだけでなく、利用者さんの将来の希望をお聞きした上で、ベストマッチする資格をお勧めするといったアドバイスも行っています。スタッフに対しては、私が資格に関するレクチャーをすることもあるので、事業所全体として資格に対する理解度が高いのではないかと思います」(竹井代表)

ルミノーズには、資格に興味を持って見学や体験に訪れる方も多いという。現在は、特にP検やビジネススキル検定、簿記が人気だ。資格の力もあ



「ヒートアップ」道場でのトレーニング風景。ヒートアップのTAMURA代表(右下)は平時から事業所を訪問して下さるなど、関係が親密だ。

り就職者も多い事業所だが、就職後の定着率も9割近くと、極めて高い数字になっている。その秘訣は、とにかく「まめな連絡を行うこと」だという。就職した後も事業所からの手厚いフォロー体制があるので、利用者さんは安心して新しい世界へ飛び込んでいくことができるのだろう。

プログラムにはワクワク感も満載

ルミノーズの3事業所は訓練のベイスを共有しつつ、それぞれに名物プログラムがある。町田では、社会人スキルとして必要なコミュニケーションのプログラムが充実しており、その一環としてアンガーマネジメントについて学ぶプログラムがあり、町田シバヒロ前には「ハンドベル部※」がある。ハンドベル部は毎月の練習に加え、コンサートも行っている。川崎登戸では「プロレス式トレーニング」があり、プロレス団体「ヒートアップ」の道場まで訪問し、トレーニングをする。なお、ヒートアップのプロレス興行においては、利用者さんがリング設置のお手伝いをすることもある。もちろん、その後は試合観戦で盛り上がる。

*ハンドベル部の1期生メンバーが全員就職決定につき、新規メンバー募集中です!

事業所お問合せ先情報

●ルミノーズ町田

東京都町田市中町 1-2-2 森町ビル 5F
TEL : 042-851-8491

●ルミノーズ町田シバヒロ前

東京都町田市中町 1-30-24 KRBOX4F
TEL : 042-860-7587

●ルミノーズ川崎登戸

川崎市多摩区登戸 2698 クレール向ヶ丘 2F
TEL : 044-299-9622

<https://www.luminoso-gr.jp/>



一人ひとりの想いを叶えるために
「当事業所ではお一人おひとりに寄り添い、ご希望を叶えるためのプログラムと一緒に考えて作成し、サポートしています。利用者さんのご年齢や経歴なども、実に様々です。どのような属性・状況にある方でも、安心して一度お越しください」(ルミノーズ川崎登戸 志賀施設長)。
「今すぐに就職したい」「資格取得に興味がある」という方から、「まずは生活習慣を整えたい」「何をやって良いか分からないがとにかく前に進みたい」という方まで、お近くのルミノーズは温かく迎えてくれることだろう。

わたしたち！ 就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

アットホームで寄り添う支援、安心できる場所です

LIIMO 調布（東京都）



東京都調布市布田 1-40-3
佐藤ビル 201 号

◆TEL 042-426-8988
◆E-MAIL liimochofu@athena.ocn.ne.jp

<https://liimo.lemonkai.social/chofu/>

これが事業所の名物ワーク！

お出かけイベント

府中の森公園や神代植物公園など、お出かけイベントで桜やバラを見に行つてのんびり散策、リフレッシュ！



障がいをお持ちの方へのメッセージ

働きたいけど、自分だけではどうしたらいいのか…迷っている方、まずはお電話ください。優しいスタッフがお話をお聞きしますよ (^_^) ちょっとの勇気を出して、動き出してみませんか？ 少しずつ、やっていきましょう。

医療と就労のトータルサポート

パスセンター東戸塚（神奈川県）



神奈川県横浜市戸塚区川上町
87-1 ウェルストン 1 ビル 6F

◆TEL 045-443-6334
◆E-MAIL higashitotuka@passcenter.jp

<https://higashitotsuka.passcenter.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

全事業所合同の Zoom プログラム

多様な働き方の実現を見据えたプログラムは在宅ワークにも対応しています。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

事業所に「保健室」があり、常駐の看護師がいるのはパスセンターだけです。どんな時も利用者さんの健康配慮を心がけ、「医療」と「就労」のトータルサポートを実施しています。

一歩を踏み出す、あなたとともに

リセル新大阪（大阪府）



大阪府大阪市淀川区西中島
4-5-27 雲龍ビル 3F

◆TEL 06-6304-0888
◆E-MAIL info.so@risele.com

<https://risele.net/shinosaka/>

これが事業所の名物ワーク！

週 2 回の PC 講座

水曜日 Excel、金曜日 Word を基礎から分かりやすく♪



障がいをお持ちの方へのメッセージ

障がいによる悩みは個性同様、それぞれです。お一人おひとりとじっくり話をしながら就職に向けたプログラムを作り、就職後もスタッフ全員で定着のためサポートします。アットホームな環境で一歩踏み出してみませんか？

あなたの「できる」を増やしていきましょう！

フィン藤崎（福岡県）



福岡県福岡市早良区百道
2-9-3 笠ビル 2F

◆TEL 092-707-7248
◆E-MAIL fujisaki-info@fin-ohashi.com

<https://www.fin-ohashi.com>

これが事業所の名物ワーク！

クッキングイベント

シチュー、だご汁、グラタン、クレープなどワイワイ楽しく作っています。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

フィン藤崎のフィンとは足ひれのこです。私たちがあなたの足ひれとなって、自分の力だけでは行けなかったところへ行けるよう、成しえなかったことができるよう、寄り添い、全力でサポートしていきます。

第2回イコウ!川柳コンテスト結果発表

イコウ<2022年秋号>にてご案内した「イコウ!川柳コンテスト」にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。ここでは、読者の皆さまの素晴らしい作品の中から表彰作品について、紹介いたします。<主催> 一般社団法人社会福祉支援研究機構



最優秀賞

M・Mさん
<リセル布施/大阪府>

表彰の言葉

朝起きて、出勤して、毎日がきらきらきらめく。ちょっとした肌寒さが気持ちを凜と引き締めて。爽やかで健やかで、とっても元気な気持ちになれる句です。

優秀賞



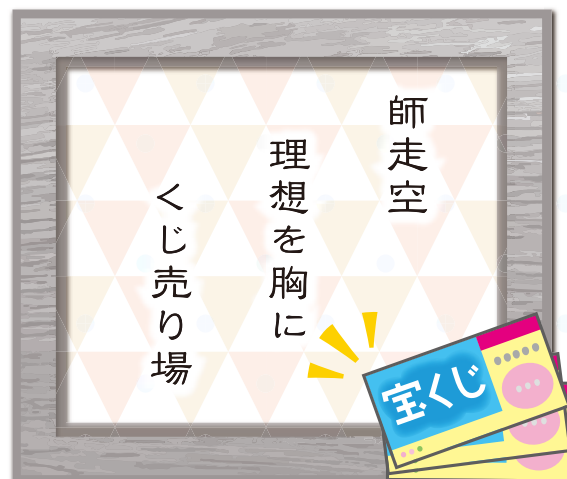
ayamomoさん
<アドマリーニ久喜/埼玉県>



ぶんちさん
<コリート甲府/山梨県>



しずかさん
<フィン香椎駅前/福岡県>



リントウさん
<リーMO調布/東京都>



佳作ギャラリー

コロナ禍で おふくろのあじ なつかしむ
T.Yさん (テイクハート金町/東京都)

ハロウィンの かぼちゃは昔 かぶだった
モリーさん (パスセンター大船/神奈川県)

マスクでも 想像できる その笑顔
シマエナガさん (エール近鉄八尾/大阪府)

辛いこと 乗り越えてけば 笑顔咲く
うみさん (アポーヨ柿田川/静岡県)



第3回『折り句コンテスト』作品募集のご案内

◆折り句とは…古くから日本にある言葉遊びの一種で、一つの文章や詩の中に、別の意味を持つ言葉を織り込む「あいうえお作文」のようなものです。お題の言葉の一つひとつの頭文字をとって、お題に関係のある文章にします。

❖お題

何でも可です。応募される方が自由に設定をしてください。複数作品応募可。

❖応募形式

- ①紙などへの手書きデータのスキャンデータ
 - ②テキストデータ
- ※手書き、テキストともにイラストの有無は問いません。

❖募集期間

2022年12月15日(木)～2023年2月15日(水)

❖結果発表

2023年3月発行予定『イコウ』2023年春号誌上にて

❖優秀作品について

折り句作家 MIKAKO さんの折り句グッズを進呈いたします。

❖応募方法

作品に氏名(ペンネーム可)を添えて、ご契約の就労移行支援事業所(社会福祉支援研究機構加盟)にご提出ください。

※本誌に掲載させていただく場合は、事前にご連絡をいたします。

<主催>



一般社団法人社会福祉支援研究機構

<協賛>



日本折り句協会

<http://www.oriku.or.jp/>



<事前講習イベントのご案内>

審査委員長・MIKAKO 先生による
「誰でも楽しめる折り句講座」

◆2023年1月7日(土)11:00～11:50

◆実施方法: ZOOM (ウェビナー使用)

◆講師: MIKAKO 先生

※詳細は事業所内の案内等でご確認ください。



就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

一般社団法人社会福祉支援研究機構 理事長

佐野敏夫氏 Toshio Sano

(一社)社会福祉支援研究機構の目指す「就労移行支援」とは

最適、最短の時期に、そして一人でも多くの「一般就労」の実現です。「一般就労」を通して積極的社会参加と自己実現の最初の大きな一歩となります。同時にタックスペイヤーの変換という社会的な意義も大きいです。



Profile

20代より武道を通じた社会教育による青少年育成活動に専念し、27歳の時に学校法人設立に関わり、理事事務局長に就任、そして32歳で設置する専修学校の校長に就任し、学校教育を通じての青少年育成活動に携わる。その後、2014年に株式会社クレストパートナーズを設立し、就労移行支援事業所の運営を開始。同年、(一社)社会福祉支援研究機構を設立。理事長として新たな形の就労移行支援事業所の全国運動を推進中。

武道と師との出会い

私は山梨の田舎で生まれたのですが、小学校に上がる時に、実母の妹夫婦に子供がなかったため、養子に入ることになりました。幼い心に起きた大きな環境の変化と同時に、愛情表現などの変化に、心が大きく揺れた記憶がはつきり残っています。そのようなこともあつてか、高校から入った武道の世界における師匠は私のことを「社会を斜に見ている」といち早く見抜き、その後、長年に渡る様々な示唆や指導をしてくれ、そのおかげもあり、徐々に心が良い方向に変化していきました。なお、師匠は大ヒット映画「少林寺」の主演である中国の有名アクション俳優、ジェット・リーを起用した方であり、私も彼が日本に来た際には共に練習をしました。

青少年教育の世界へ

ある時、その師匠が若者の教育を担う財団法人や学校法人を設立されました。私は自分の道場を運営しつつ、それらの団体に事務局長や理事といった役割で中核的に関わるようになっていきました。そのような中、社会問題として不登校の問題が目立つようになってきて、私も彼らの支援に携わりました。これが、現在の就労移行支援事業にもつながっていきます。20年以上青少年教育を社会教育と学校教育の両方からアプローチしてきましたが、座右の銘としてきたのが『半ばを他人(ひと)の幸せを、半ばは己の幸せを』という仏教の教えで

支援員の幸せこそが、利用者の幸せにつながる

す。この考えによると、自分の幸せは他人の幸せの上に成り立っており、逆に、他人の幸せも自分の幸せの上に成り立っているのです。現在、これは私が運営する就労移行支援事業所において支援員の幸せを重視する発想の元になっていると思います。

話を戻しますと、その後、紆余曲折を経て、様々な学校法人(専門学校や通信制高校など)に副校長をはじめとした役割にて携わったり、他の学校の立て直しを行ったりして全国を行脚しました。

就労移行支援事業所設立の経緯

学校経営などのお手伝いをしていく中で、学校では優秀で良い生徒だったが、就職してから会社を辞めて引きこもってしまう卒業生が少なくないことが分かってきました。今言うパワーハラなどでの退職ということにもなるのでしょうか。これはその子の人生にとっても社会全体にとってももったいないことであると考えたため、若者サポートステーションのようなものをやろうと思っていた時、就労移行支援という制度を知り、これに取り組んでみようという決意をしたのです。

そして、2014年にまず自身自身が運営する事業所をつくり、すぐに仲間を募って全国展開を始めました。結果、加盟事業所は8年で25倍以上の規模となったので、私たち

より多くの方が幸せになるように

全ての事業所を把握しているわけではないですが、概ね大手と言われるフランチャイズの事業所は、「集団教育型」であり、決まった訓練時間に皆で同じカリキュラムで行うものが多いようです。一方、私どもは「個別プログラム型」を実践し、お一人おひとりのお気持ちや現状を踏まえて目標や訓練内容を相談して進めていきます。これはオーダーメイドとは違います。利用者さんの中には、ご自身の最適な訓練方法が分からない方も多くいらっしゃる一方で、一緒に、二人三脚で訓練方法から築き上げていくのです。

支援員である私たちは、自らの人生をより有意義に、より心豊かに生きようとするのが大切です。それが末永い事業継続を可能にし、より多くの利用者さんの支援につながるのです。まさに『半ばを他人(ひと)の幸せを、半ばは己の幸せを』です。人生は「色々な重荷を背負って、山を登るが如き」とも言われますが、そのような中でも一筋の光明を見ながら、一人ではなく、多くの仲間と共に歩み続けようとする姿勢こそが、支援の源ではないかと思えます。



一般社団法人社会福祉支援研究機構HP : <http://social-so.net/>



最新の取り組みのご報告

スペシャルプログラム第 37 ~ 39 弾

『繋がっているよ!笑顔になろうよ!』

アンガーマネジメント

森ひとみ先生をお招きし、「イライラと上手に付き合うアンガーマネジメント」をご講演いただきました。アンガーマネジメントは怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニングです。講演では怒りの感情について学ぶことができ、利用者さんは有意義な時間を過ごす事ができたのではないのでしょうか。



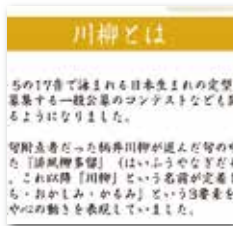
座ってできる簡単ボディワーク



カウンセラー、田口れい先生に、「副交感神経の力を高め、自律神経バランスを整えよう～座ってできる簡単ボディワーク～」を行っていただきました。ボディワークは、家でもどこでもちょっとした合間にできるので、利用者さんの運動習慣のきっかけになればと思います。

川柳講座

当誌『イコウ』の編集長の大槻一敬が「誰でもつくれる川柳講座」を行いました。テーマ選びのポイントや制作テクニックなどを紹介し、ご参加の利用者さんには実際に川柳をつくっていただきました。今号では、川柳コンテストの結果発表もありますので、そちらもぜひご覧ください。



社会福祉支援研究機構スペシャルプログラム「繋がってるよ!笑顔になろうよ!」では、コロナ禍中、ビデオ会議システムZOOMを活用して全国各地の就労移行支援事業所だけではなく、在宅訓練をされている利用者さんとも繋がり、様々なイベントを行っています。

お知らせ<訃報>

去る 9 月 11 日 (日) に当機構事務局長を務められていた寺田一郎氏が急逝されました。寺田氏は株式会社クレストパートナーズ代表取締役社長として就労移行支援事業所ティオ4事業所を統括されていたと共に当機構の発展に大きく貢献をしてくださいました。ここに生前のご厚誼を深く感謝しご冥福をお祈りするとともに謹んでご通知申し上げます。

一般社団法人社会福祉支援研究機構 令和4年度研修会

『法人として対応すべきこと』

健全で安定的な事業所運営のために

当機構の両角康史専務理事より、就労移行支援事業所を運営していく上で、今後対応していかなければならないポイントについて解説がありました。今回議題とされたのは①虐待防止に係る取組の強化、②身体拘束等禁止に向けた取組、③衛生管理等に係る取組、④業務継続に向けた計画等



の作成、⑤ハラスメント防止のための措置、の5テーマでした。①②は令和4年4月より義務化がなされているため、今しっかりと対応しておくことが特に求められるのではないのでしょうか。当機構加盟事業所の皆さまにおかれましては、引き続き各種コンプライアンスの徹底をお願いいたします。



ますます広がり続ける支援の輪

当機構加盟事業所は

79事業所

2022年12月1日現在

一般社団法人 社会福祉支援研究機構
加盟就労移行支援事業所
今後も日本各地で開所・加盟が
予定されています。



❖題字の作者



1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみんなと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可） / イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず） / 川柳 / 俳句 / 短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。

※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

① 一人でも多くの“一般就労”を実現

② 最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③ “一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和4年3月31日時点

2,272名就職

資格合格実績累計

令和4年6月30日時点

8,517名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフェンシー検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルキャリアリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接客検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座

★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

